


<p>項 目</p>	<p>2019年度北方領土中学生作文コンテスト入賞者及び第18回「北方領土の日」ポスターコンテスト入賞者に係るオホーツク総合振興局管内の表彰について</p>																		
<p>配布資料</p>	<p>・2019年度北方領土中学生作文コンテスト入賞者作品 別紙1 ・第18回「北方領土の日」ポスターコンテスト入賞者作品 別紙2</p>																		
<p>内容及び報道に当たったのお願い</p>	<p>1 応募状況</p> <table border="1" data-bbox="405 568 1051 822"> <thead> <tr> <th></th> <th>作文コンテスト</th> <th colspan="2">ポスターコンテスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">全 道</td> <td>中学生</td> <td>中学生</td> <td>小学生</td> </tr> <tr> <td>184</td> <td>299</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オホーツク管内</td> <td>中学生</td> <td>中学生</td> <td>小学生</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 選 考 (1) 北方領土中学生作文コンテスト 公益社団法人復帰期成同盟事務局 公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟ほか3団体による選考 (2) 「北方領土の日」ポスターコンテスト 北海道デザイン協議会 公益社団法人北方領土復帰期成同盟ほか1団体による選考</p> <p>3 オホーツク管内の表彰式及び入賞者 (1) 北方領土中学生作文コンテスト 日 時：令和2年(2020年)2月18日(火)12:45~13:00 場 所：網走市呼人中学校校長室 表彰者等：優秀賞 寺崎 唯(てらさき ゆい) 第2学年 (2) 「北方領土の日」ポスターコンテスト 日 時：令和2年(2020年)2月20日(木)12:50~13:15 場 所：北見市光西中学校校長室 表彰者等：優秀賞 森谷 音雲(もりや りうん) 第3学年</p> <p>4 その他 入賞作品につきましては、ホームページにも記載しておりますので、ご覧ください。</p> <p>〔作文〕http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/hrt/sakubun.htm 〔ポスター〕http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/hrt/R01posucon.htm</p>		作文コンテスト	ポスターコンテスト		全 道	中学生	中学生	小学生	184	299	37	オホーツク管内	中学生	中学生	小学生	11	3	0
	作文コンテスト	ポスターコンテスト																	
全 道	中学生	中学生	小学生																
	184	299	37																
オホーツク管内	中学生	中学生	小学生																
	11	3	0																
<p>担当窓口</p>	<p>オホーツク総合振興局 総務課長 井川 浩樹 電 話：0152-41-0603 (内線2115) F A X：0152-45-0336</p> 																		

【優秀賞】

「北方領土問題について」

網走市立呼人中学校

2年 寺崎 結

私は八月二十八日に元島民の語り部の方からお話を聞きました。昔はどのような生活をしていたのか、占拠された時の様子、現在の生活はどのようなものかなど、教えていただきました。

北方四島は面積五千平方キロメートルで、歯舞群島では、面積が小さいながらもたくさんの方が生活していました。また、そこでは長さ5、6メートルの昆布を取って暮らしていました。他の島でも特に漁業が盛んで、漁を中心に生活していたそうです。戦争の間はひもじい生活をしていて、食べ物が自由に買えず毎日同じおかずで、それでも、わがままや不満は言えなかったそうです。そして戦争に勝ったロシアは不法に四島を占拠したそうです。無抵抗の人たちを銃で脅し、家を荒らされた、その時のことを長い年月がたった今でも忘れられないと話していました。

そんな毎日に耐えきれず、島を脱出する人もいたそうです。その後、兵隊が上陸し、島民の方は強制送還させられました。乗り込んだ船は貨物船で毎日パンと漬物を出されたそうです。船は不衛生で栄養失調で亡くなる方もいて、幼い赤ん坊ですら死んでしまえば海に捨てられてしまったそうです。

私はこの話をもっと多くの人へ語り継がれるべきだと思います。当時、島で暮らしていた自分の故郷を奪われ、その後、今現在も満足に島に行き来することもできていません。元島民の多くの方は悔しく悲しい思いを今もしています。最近、市のお祭りや行事などで北方領土返還に関する活動を目にします。そういった活動に参加していくことで、より北方領土への理解が深まっていくと思います。私たちの行動一つで少しでも状況が良くなるならば、それをしていくことが必要です。いつか北方領土が返還されることを願っています。

自分には関係ないことと思うのではなく、日本の領土が不法に占拠され、辛い思いを経験して、今、返還を目指して活動している人がいることを知ってほしいです。同じ日本の国民として、少しでもこのような意識を持つことが大きな力となるはずです。私自身も直接語り部の方から話を聞いて、昔の北方領土のことや現在の状況がよくわかり、理解を深めることができました。人から人へ語り継がれることでよりたくさんの人に。日本だけでなく、不法に占拠しているロシアにも、この事実を知ってほしいと思います。

優秀賞



北見市立光西中学校 第3学年

森^も谷^り 音^り雲^{うん} さん